

閉上の思いつなぎ8年半



「閉上復興だより」の最終号

東日本大震災で津波被害を受けた名取市閉上の地域情報誌「閉上復興だより」が3月20日発行の第60号で、終刊となった。編集長の格井直光さん(61)は「閉上の情報を伝える新聞として頼りにされた」と、創刊から8年半の歩みを振り返る。

復興だより60号で終刊

格井編集長 新情報紙 6月から

第60号はB4判カラー4頁。離れ離れになった閉上の思いをつないでくれた。など、これまで発行に関わった人々からのメッセージを掲載し、震災前後の閉上の街並みを写した写真を掲載し「震災後、震災後、震災後、私たちが愛するまち「閉上」をどうつづけたか」と題し、閉上地区では昨年5月に「まちづくり」を終え、「被災者に自立の芽が出てきた」と格井さん。閉上復興だより」の発行が6月、社団法人「閉上復興だより」が6月、変りゆく閉上の街並みや歴史、人々の動きなどを発信する新たな地域情報誌「閉上だより」を創刊する。発行は年4回の予定。同法人代表を務める格井さんは「住民参加型で、新しい閉上も震災の記憶を伝えたい」と話す。連絡先は「格井直光」@email.tn.vurijase@docomo.jp

みんな、どうしてる? ~子どもたちへのエール~



メッセージを掲げる上愛子小の先生たち

3月末で退職した先生たちから児童生徒へのメッセージを募集します。①メッセージ(300字程度)②顔写真をお送りください。応募フォームがありますので、ご希望の先生は下記メールアドレス宛にご連絡ください。動画もOKです。メッセージ、写真、動画は河北新報オンラインニュースの特設サイト「春休みの君へ 学びナビ」(QRコード)でも公開します。連絡先は河北新報社防災・教育室kyopro@po.kahoku.co.jp



上愛子小(仙台・青葉) 新学校 一緒につくろう
新年度に作並小、大倉小と統合した上愛子小の先生たちが、児童たちにメッセージを送りました。
児童の皆さんへ。昨年度はたびたび3校合同で校外学習にたりたり遊んだりして、それぞれのお友達とも顔を合わせてきましたね。一つの学校になる心の準備もできてきているのではないですか。
大倉小だった皆さんは、今年度まで16年生の児童10人だった。何をすることも一緒でした。新しい学校では学年ごとに行動することになります。これまではお互いの学校がいて、同じ学校にいたけれど、これからは一つの家族のようになります。上愛子小の校庭で103人の子どもたちが仲良く一緒に遊ぶ日を、先生たちも楽しみにしています。

河北春秋

作家の故小松左京さんがSF小説『日本沈没』の執筆を始めたのが1964年。東宝の年々新幹線が開通、高層ビルが建ち、大丈夫かなと思つたのが、動機の一つ。阪神大震災のルポ「日本沈没」は、地震を想定し、高速道路の崩壊を描いた。車窓からは「道路が傾くわけはない」と断言されたが、震災で道路の崩壊が現実になった。小松さんは「沈没」を見た小松さんは驚愕した。夜に眠れず、酒の力を借りて眠ることもあつた。心的外傷後ストレス障害(PTSD)だ。PTSDは、災害が国内で注目されたのは阪神大震災の時。多くの人がPTSDに悩まされた。精神科医らが相談活動を実施。以後、心のケアは日本大震災などの災害や事故で成果を上げた。だが、心の傷はなかなか癒えない。被災地の街には、癒やされるどころか、心は壊れていく。被災地には、癒やされるどころか、心は壊れていく。被災地には、癒やされるどころか、心は壊れていく。

かほく ワークシート

学校お休み
河北新報で自習しよう!
答えは6日の朝刊に

問題
①阪神大震災の時、「まさか」と思われていたことが現実になりました。それは何ですか。
②小松左京さんが鬱状態になったきっかけは何ですか。
③遺族の方が悲しく思うのはどのようなことですか。

出題者から
東日本大震災を経験した私たちは、阪神大震災から25年たっても、悲しみが消えない被災者の気持ちがよく分かります。風化するこのないよう語り継いでいくことは、とても大事だと思います。(日本新聞協会NIEアドバイザー・仙台市高森中教諭 木下晴子)

みやぎ 情報サービス

春の登山を歩きましょう
伊勢崎入道 9月13日午前10時午後5時、仙台市青葉区、西風巻山(終端)登山を予定。定員20人参加費500円。朝食、飲み物、雨具など持参。申し込みは5月8日まで。申し込み先022-719-2404(022-719-2404) 無料相談

移動献血車 5日
▽石巻市・カワチ薬品石巻西店(午前10時30分～午後5時) 1時～4時30分▽名取市・イオンモール名取(午前10時～午後5時) 午後1時～午後5時
▽仙台市・イオンモール仙台パルセナ(午前10時～午後5時) 午後1時～午後5時
▽仙台市・イオンモール仙台パルセナ(午前10時～午後5時) 午後1時～午後5時

4日目の答え
①グレッタさんは2018年8月20日にどんな行動を起こしましたか? 「スウェーデンの首都ストックホルムの国会前で座り込みを1人で始めた」
②20年9月20日、世界で何が起こりましたか? 「地球温暖化を防ぐように求めた抗議活動に約160カ国の400万人以上が参加した」
③温室効果ガスの排出がこのまま続くと、2100年にはどんなことが起きる可能性がありますか? 「世界の平均気温が4度以上上がって海面上昇や干ばつ、食糧不足で危機的な状況になると言われている」
④19年12月に国連の会議が開かれた際、グレッタさんは世界に何を訴えましたか? 「各国のリーダーは未来と今の世代を守る責任がある」

県からのお知らせ

各記事の詳細内容は各お問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

宮城県警察官採用試験

●職種/警察官A(大卒・大卒見込み)
①一般(男性・女性) ②武道指導(男性・女性)
●待遇/給与は県規定による
●第1次試験日/5月10日(日)
●申込期間/4月17日(金)まで(消印有効)
●申込書/県内各警察署などで配布
申し込み方法など詳しくはホームページをご覧ください。
※令和2年度から、警察官・少年警察補導員採用試験において身元・健康基準を厳格化します。
警察本部警務課採用係 ☎(0120)204606

教員採用説明会の開催

宮城県の教員を志す方を対象に「Miyagi Seminar」を開催します。無償の可能性を秘めた宮城の子供たちを大きく成長させようという情熱と志、高い倫理観をもった方の出陣をお待ちしています。
●内容/令和3年度教員採用試験候補者選考実施要項の説明など
●日時/会場/実施についてはホームページでご確認ください
警察本部警務課採用係 ☎022(211)3637 FAX022(211)3698

NPO法人などが行う復興支援事業を支援します

【絆力を活かした復興支援事業】
NPO法人などが行う、「心のケア」や「コミュニティ形成」などの復興・被災者支援事業費用を補助します。
●補助率/10分の9以内
●補助上限額/1件当たり900万円
※本事業の採択に応じて異なりますので、交付要綱をご確認ください。
【心の復興支援事業】
東日本大震災の被災者が主体的に参加する、県内の複数市町村を対象とした他者とのつながりや生きがいを持つための継続的な取り組みの費用を補助します。
●補助率/10分の10以内
●補助上限額/1件当たり200万円
●申し込み/4月6日(月)～5月7日(木)(予定)に、申請書類を持参または郵送(必着)により下記へ
※共同参画社会推進課 ☎022(211)2576 7980-8570(所在地記載不要)

みやぎ食の安全安心消費者モニター募集

●活動内容/アンケートへの協力、希望により研修会、食品工場見学会などへの参加
●対象/県内に在住の18歳以上で、無償で活動可能な方
●申し込み/ホームページから申し込み、または申込書を郵送、ファクシミリにより下記へ
●申込書/下記で配布、またはホームページからダウンロード
●食と暮らしの安全推進課 ☎022(211)2643 FAX022(211)2698

ひとり親家庭等就業支援講習会

●内容/マイクロソフトワード2013(平日コース)
●対象/県内のひとり親家庭の母や父または寡婦で全日受講可能な方
●人数/15人(定員を超えた場合は選考により決定)
●日時/5月20日から7月10日までの各水曜日計16回(午前9時～午後4時)
●会場/宮城県母子・父子福祉センター
●費用/教材費および検定料などの実費16000円程度(受講料は無料)
●申し込み/無料(3歳～小学3年生、要予約)
●申し込み/4月11日(土)から24日(金)まで、はがき(必着)またはファクシミリにより、講習会名、住所、氏名、電話番号、託児の有無(年齢)を記入し下記へ
※宮城県母子福祉センター ☎993-0832 仙台市宮城野区安養寺3-7-3 ☎FAX022(256)6512 親子とも就業支援 ☎022(211)2633

労働相談窓口のご案内

賃金や勤務時間などの労働条件、解雇、退職などさまざまな労働問題に関する相談に対応する「労働相談窓口」を設置しています。相談内容により、ほかの適切な機関の情報提供もできますので、下記専用ダイヤルへお気軽にご相談ください。
●受付時間/午前8時30分～午後5時15分(土日祝日、年末年始を除く)
●県労働相談窓口(専用ダイヤル) ☎022(214)1450
※労働委員会事務局 ☎022(211)3787

高齢者の権利擁護相談

高齢者に対する暴力や暴言、金銭の使い込みなどは、高齢者虐待と呼ばれる重大な権利侵害です。「最近、暴力を振るわれた」「自分の預金通帳を使わせてもらえない」と、権利擁護に関するお悩みについて相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。(相談無料、秘密は厳守)
●相談/宮城県福祉オンネット「エール」 ☎022(722)7225
●受付時間/月曜日～金曜日(祝日を除く)午前10時～午後3時
※長寿社会政策課 ☎022(211)2536

若年性認知症相談窓口(65歳未満の方で認知症についてお悩みの方はこちら)

「最近、もの忘れが原因で仕事のミスが増えている」「認知症と診断されたが、子供が小さく家のローンもあり、どうしたらよいかわからない」と、若年性認知症に関するお悩みを抱える方のために、専門相談窓口を設置していますので、お気軽にご相談ください(相談無料、秘密厳守)
●相談/いづみみ杜診療所RBA相談室 ☎022(346)7068
●受け付け/月曜日～金曜日(祝日を除く)午前9時～午後4時
※長寿社会政策課 ☎022(211)2552

性暴力の被害相談

●支援内容/相談、医療機関などへの付き添い、被害に伴う受診費用の助成など
●対象/性暴力被害に遭われた方および家族など
●受付時間/月曜日～土曜日(祝日を除く)午前10時～午後8時(土曜日は午後4時まで)
※土曜日は男性相談員による相談も行います。
●電話/性暴力被害相談支援センター宮城 ☎(0120)556460
●共同参画社会推進課 ☎022(211)2567

食材王国みやぎマルシェ 出展者募集

初開催となる県産農林水産物や加工品などの販売会「食材王国みやぎマルシェ」の出展者を募集します。
●対象/市町村、農林漁業者、食品製造加工業者(いずれも県内のみ)
●出展料/無料
●募集期間/4月13日(月)～5月13日(水)
●申込書/ホームページからダウンロード
開催日時など詳しくはホームページ(4月10日)

食料王みやぎマルシェ 出展者募集

(金)公開予定)をご覧ください。
※食料王みやぎマルシェ ☎022(211)2815 FAX022(211)2819

労働問題(個別労使紛争)解決をお手伝いします

解雇や長時間労働、パワハラなどにより労働者と会社の間で生じる労働問題について、話し合いによる解決を目指す「個別労使紛争のあっせん」を行っています。
あっせんは、労働者、使用者のいずれの方も申請できます(すでに退職している場合でも可能です)。費用は無料、相談内容の秘密は厳守します。
●申し込み/電話にて下記へ
※労働委員会事務局 ☎022(211)3787

県民の森駐車場を増設しました

昭和44年に開園した県民の森は、令和元年で50周年を迎え、年間約25万人の方々にご利用いただいています。特にお花見や紅葉の時期には、駐車場の混雑状態が続き、お客様にご不便をおかけしておりました。この状況を改善するため、中央記念館前の駐車場を46台分増設し、車椅子用駐車場の新たに設けられるとともに、中央記念館入り口付近も舗装し、バリアフリー化にも配慮しました。より利用しやすくなった県民の森へ、ぜひご来園ください。
※自然保護課 ☎022(211)2676

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

◆健康相談窓口
帰国者・接触者相談センターへの相談も、まずはこちらにご連絡ください。
県および仙台市
●健康相談窓口(コールセンター) ☎022(211)3883、022(211)2882
【視覚や言語に障害のある方専用】 FAX022(211)3192
E-mail:sodan-corona@pref.miyagi.lg.jp
24時間受付
厚生労働省
●電話相談窓口(コールセンター) ☎(0120)565653(フリーダイヤル) 午前9時～午後9時
◆生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金等の特例貸付
一時的な資金が必要な方への緊急の貸し付けを行っています。
※お問い合わせは、県ホームページの重要なお知らせ「新型コロナウイルス感染症関連情報」からご確認ください。
企画/宮城県広報課

広告に関するご意見は「JAROオンラインご意見箱」または「お電話」で。

JARO 東京 (03)3541-2811 大阪 (06)6344-5811

広告・表示のフェア性を推進しています。 JARO 公益社団法人 日本広告審査機構